

いる。

(c) 賃金等

各プロジェクトは概ね10人程度の訓練生で構成され、プロジェクト期間は約26週間(6か月)以上、週給196～376豪ドル(≒18,000～36,000円)程度となっている。賃金は、グリーンコア(オーストラリア環境ボランティア信託)が参加者に支払う。また、一定の場合、政府は参加者に交通費(移転費)も支給する。

(4) ジョブスパスウェイプログラム(Jobs Pathway Programme ; JPP)^(注7)

a 概要

若年者の学校生活から職業生活や次の学業生活への円滑な移行をはかるために、特にそうした点に困難を見出している若年者を対象に、在学・復学を支援したり、(次の)教育訓練機会・就職機会への道筋をつけるために、1999年から導入されているものである。現時点で政府は、2006～2008年の計画を作成している。なお、JPPは、2006年度から「ユースパスウェイプログラム(YPP)」と改称されることになっている。

プログラムの実施に当たっては、(政府が)プロバイダー(表1-77)を入札で募集し、契約して、そのプロバイダーがプログラム実施主体となる。プロバイダーには、(民営)職業紹介事業所、グループ訓練企業、(行政庁に)登録した訓練機関、コミュニティ段階の訓練機関、学校があげられる。

このプログラムの眼目は、プロバイダーによって、一人一人の個人に対応した(「オーダーメイド」)助言を若年者に対して与えることにある。

プロバイダーは、あらゆる方法を用いて、必要な支援を与えることとされ、時宜に合った適切な情報提供、(今後の人生設計選択の)オプションに係るガイダンス、(次の)教育・訓練機会、雇用へのアクセスへの支援など広範なものを総合的に支援することとされている。

b 対象者及び適用要件

13～19歳で、在学中又は過去12か月以内に学校を離れて、現在及び今後、自分が何をすべきか、本人にも分かっていない者が対象であり、特に不安定で、配慮の

必要のあると考えられる者である。

プログラム受講を希望する者が最寄りのプロバイダーに申請する。

なお、本件プログラムに参加すると、参加者は相互義務(上記(1)参照)の義務を果たしたことになる。

プログラムの対象は、具体的には下記の者である。

- ・(学校生活から職業・上級学校生活への)スムーズな移行のために必要とされる識字能力・算数能力を十分に有していない者
- ・使用する言語が英語以外の者
- ・教育期間12か年又はそれに相当する職業教育期間の満了前に学校を退学した者
- ・学業成績が悪い者
- ・不登校(truancy)の者
- ・障害者
- ・オーストラリア原住民
- ・その他、相当な個人的な事情がある者

c 具体的プログラム内容^(注8)

具体的なプログラム内容は、学校生活から職業生活への円滑な移行を行うために必要な、対象となる若年者個々人のニーズに合わせて提供されるが、主なものは次の3つである。

- ・(学校生活から職業生活への円滑な)「移行計画」の作成を含む、個々の若年者のニーズの的確な評価(assessment)
- ・「移行計画」による、参加者のニーズに合うような形での、アフターサービス・支援の実施
- ・支援・指導

プログラムが参加者に満足されるためには、プロバイダーが各参加者に上記の3要素を適切に提供できるようにしなければならない。

そのため、単なる職業紹介サービスや、個々人の事情を無視した一般論としての(助言等の)支援では、不十分であり、対面又は電話による本人との接触を行って、こうしたプログラムを実施するよう、政府はプロバイダーに求めている。

d 実施状況

毎年、14～19歳の若年者約7万人、1,600校以上が

参加している。

e 財源・予算規模

2004年1月～12月の1年間に、連邦政府はこのために約2,300万豪ドルを歳出した。

〈表1-77〉 JPP のプロバイダー一覧

プロバイダー名称	所在地名
ニューサウスウェールズ州	
タムワース・区訓練サービス(尙)	アミデール
オアシス雇用前ネットワーク(尙)	バトマンスベイ
ブローケンヒルズ技能センター(尙)	ブローケンヒル
タムワース・区訓練サービス(尙)	モレー
ヴィクトリア州	
西ギップスランド&ラトローブヴァリーコミュニティ教育センター	ギップスランド
ワークウエイズ協会(尙)	ギップスランド
クイーンズランド州	
ビジネスアカデミーPtyオフィス(尙)	ベイサイド
職業パートナーシップグループ(尙)	ケアーンズ
職業パートナーシップグループ(尙)	テーブルランズ/ジョンストーン
南オーストラリア州	
エール雇用サービス(尙)	エール
TAFEスベンサーインスティテュート	ファーノース
イーストサイドSA	ソーリスベリーブレーンズ
カトリック教会基金協会(尙)	ワイアラ/ポイントオーガスタ
西オーストラリア州	
ジョブリンク企業(尙)	ビルバラ

資料出所 連邦教育科学訓練省ホームページ

6 今後の課題

(1) ANICA (Australian Network of Industry Careers Advisers : オーストラリア産業キャリアアドバイザーネットワーク)の導入

政府は、ジョブパスウェーブプログラム(JPP ; 上記5(4)参照)について、1999年の導入以来、若年者の雇用・教育・訓練に一定の役割を果たしてきたと評価している。

しかしながら、これら既存の制度だけでは、若年者の学校生活から職業生活あるいは、学校生活から高等教育生活への円滑な移行を十分に達成することはできない。こうした課題に対処するため、現与党が2004年の選挙公約に掲げ、選挙後に政府が導入を決めた制度である。

このプログラムは、13～19歳のすべてのオーストラリア人の、学校生活から職業生活／高等教育生活への円滑な移行を支援するもので、既存のLCP(ローカルコ

ミュニティパートナーシップ^(注9))を通じて行われる予定となっている。LCPを通じて、1億4,320万豪ドル(約135億円)が、2005～2006年会計年度から、2008～2009年会計年度までの4年間、(国から)投入されることになっている。

この内容は、様々な相談員を置いて、対象者との相談・助言・指導に当たらせるというものである。

なお、既存の制度であって、同じ学校生活から職業生活／高等教育生活への円滑な移行を目的としているジョブパスウェーブプログラムについては、LCPを通じたANICAの全面的導入後も存続し、今後は、職業生活等への移行が困難であり、より支援を必要とする者に対する(助言等の支援)サービスの提供に重点を移していくこととされている。

- (注1) オーストラリア政府・豪日交流基金「オーストラリア発見」
- (注2) 参考：AQF Advisory Board “AQF Implementation Handbook 3rd Edition 2002” (<http://www.aqf.edu.au/handbook.pdf>)、「海外ひとづくりハンドブック オーストラリア」(財)海外職業訓練協会[OVTA]平成14年刊
- (注3) オーストラリア政府ホームページ
- (注4) 経済協力開発機構“OECD Employment outlook 2002”
- (注5) 経済協力開発機構“OECD Employment outlook 2002”
- (注6) Parliament of Australia “Parliamentary Library” HP 等
- (注7) オーストラリア政府HP、連邦教育科学訓練省資料
- (注8) Australian Government Dep. of Education, Science and Training Guideline for the Jobs Pathway Programme(JPP) 1 Jan. 2004-31 Dec. 2004
- (注9) Local Community Partnership 参考：連邦教育科学訓練省(DEST)ホームページのアーカイブhttp://www.dest.gov.au/archive/tenders/oct04/6286/6286_FAQ.pdf#search='Local%20community%20partnership'

LCPの圧倒的大半は、学校・大学・地域の事業主との間での職業教育訓練(VET)の協力活動のために設置・財政負担されてきたものであって、1990年代には、全豪学生訓練基金(Australian Student Trainee Foundation)が、連邦政府からの(金銭的)支援、専門知識の援助をこうしたLCPに行いつつ、職場体験(「構造的職業紹介」: Structured Work Placements^(注10))を行っていた。

その後も組織改変が行われたが、現在でも多くのLCPが、学校における職業教育訓練(VETis: Vocational Education and Training in Schools)のための職業紹介・産学間プログラムの協力を行うためのサービスである。しかし提供する個々のサービス、サービス提供の仕方はまちまちで、またそれらのプログラムがお互いに影響し合ったり、協力関係にあるので、内容は広範である。現在全国に216のLCPがあるとされる。具体的なサービス実施機関は次のとおりである。

〈表1-78〉 LCP の例

パートナーシップ名称	所在州名
南西シドニー産業教育パートナーシップ(有)	ニューサウスウェールズ
西シドニー学校産業	ニューサウスウェールズ
リートンナランデラLYNKsプログラム	ニューサウスウェールズ
グリッフィスSTEP	ニューサウスウェールズ
職場学習メルボルン西	ヴィクトリア州
北職場学習教育ネットワーク(有)	ヴィクトリア州
サンバリーダウンスカレッジ	ヴィクトリア州
サレジアンカレッジ	ヴィクトリア州
MOSEDG(有)	ヴィクトリア州
市内メルボルンVET集団	ヴィクトリア州
ペニンストラ VET } 以下略	ヴィクトリア州

資料出所 連邦教育科学訓練省ホームページアーカイブ

(注10) Structured Work Placements

訓練としての就労斡旋。学生は強くこれに参加することを学校側から推奨される。こうして学生の間に実務能力の取得をはかり、将来の就職に資することを目的としている。

参考：ノーザンテリトリー州雇用教育訓練省(DEET)ホームページ“Vocational Education & Training in Schools Program Handbook 2005”

参 考 文 献

- ・ (財)海外職業訓練協
「海外ひとづくりハンドブック オーストラリア」
- ・ オーストラリア連邦政府雇用職場関係省
“AUSTRALIAN JOBS 2005”
- ・ 経済協力開発機構 “Employment outlook 2002”
- ・ オーストラリア政府・豪日交流基金ホームページ
「オーストラリア発見」
- ・ オーストラリア議会ホームページ
“Parliamentary Library”
- ・ ハワード首相ホームページ
“Government Report Card”